

第1回多可町八千代区小学校統合準備委員会 要点記録

開催日時：平成26年5月13日（火）午後7時30分～午後9時30分

開催場所：八千代プラザ 会議室3

出席者：（地域の代表）吉田委員、上月委員、小林委員、藤田委員、常見委員、工古田委員
（保護者代表）岸本委員、草譯委員、草場委員、森川委員、藤田委員、上月委員、
多方委員、櫻本委員、石川委員、尾芝委員、門脇委員、伊藤委員
（識見を有する者）柴田委員、伊藤委員、杉山委員、細尾委員
（学校代表）近藤委員、小林委員、荻野委員

事務局：岸原教育長、高見こども未来課長、藤原プロジェクト推進課長、
原地域振興課長、竹内生活安全課長、谷尾主任指導主事、多方地域振興課副課長、
森脇こども未来課課長補佐、藤本こども未来課課長補佐

傍聴者：なし

会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局紹介
- 6 概要説明（多可町学校規模適正化基本計画・多可町八千代区小学校統合準備委員会設置要綱・多可町八千代区小学校統合準備委員会の運営方法）
- 7 統合準備委員会 正・副委員長選出（委員長1名・副委員長2名）
- 8 会長あいさつ
- 9 所属専門部会の決定
- 10 第1回専門部会
- 11 専門部会報告
- 12 その他
- 13 閉会

1 開会

2 委嘱状交付

教育長から代表委員への委嘱状交付

3 教育長あいさつ

委員の皆様には、八千代区小学校統合準備委員会の委員をお願いしたところ、快くお引き受けをいただき心より感謝を申し上げます。統合までの2年間よろしく申し上げます。全国的に少子化が進む中、多可町においても子どもの数が減っているのが現状である。

こうした中、平成22年度から教育委員会では「多可町学校規模適正化検討委員会」を設置し、学校の適正規模および配置について協議をしてきた。引き続き、平成24年度からは、保護者・地域の皆さん・学校関係者を構成員として「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置し、子どもたちにとってどのような学校規模で教育していくのが適切なのか、「子どもの教育」を基点に考えてきた。昨年9月に「地域の学校教育を考える会」から意見書を受け、これをもとにして平成26年3月に、町および教育委員会として、「学校規模適正化基本計画」を策定した。平成28年4月に八千代区の3つの小学校を統合して1つの新しい小学校をつくる。場所については、現在の八千代南小学校の校舎等を活用することを決定し、4月21日から3つの校区で説明会を開催した。統合準備委員会の皆様には、これから統合に向けて色々な課題の調整や協議をいただくことになる。

子どもたち・保護者・地域の皆さんにとって、統合して良かったと思える小学校にしていくため、ぜひ皆様の力と知恵をお借りしたい。委員の皆様には苦勞をお掛けすることになるがよろしくお願ひします。

4 委員自己紹介

5 事務局紹介

6 概要説明

「多可町学校規模適正化基本計画」について

「多可町八千代区小学校統合準備委員会設置要綱」について

「多可町八千代区小学校統合準備委員会の運営方法」について

- ・統合準備委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開催できない。
- ・出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。
- ・個人に委嘱しているため、統合準備委員会委員の代理出席はできない。ただし、欠席する場合でも事前に意見などを事務局に提出した場合は、統合準備委員会に諮ることができる。
- ・委員会は原則公開とするが、個人情報など協議案件の内容によって委員の過半数が認めた場合は非公開とする。(会場の広さの都合上、人数制限もあり得る)
- ・委員会の傍聴希望者がいる場合は、委員会の冒頭に傍聴の取扱いを諮る。傍聴者は会議において発言することや、録音を取ることはできない。
- ・委員会の議事内容は、要旨を記録し、会長が署名したものを議事録として保存する。発言内容など、委員名は掲載しない。議事録は次回の委員会もしくは郵送などで委員に内容を確認した上で教育委員会ホームページに公開する。
- ・また、協議内容や決定事項については「統合準備委員会だより」を発行するほか、広報紙やたかテレビ、ホームページなどでお知らせする。統合準備委員会だよりは委員長、必要に応じて各部長に確認した上で発行する。
- ・専門部会の議事録(要旨)は、作成しない。協議内容や決定事項は「統合準備委員会だより」を発行するほか、広報紙やたかTV、ホームページなどでお知らせする。
- ・統合準備委員会及び専門部会の進め方は、各専門部会において協議事項ごとに課題や問

題点などを議論し、各部会で原案を作成する。事務局は、近隣市町の情報など各部会からの要請等により参考資料を提供する。各部の原案は統合準備委員会で協議を行い、「統合準備委員会案」を決定する。決定後は、教育委員会に報告する。内容によっては、教育委員会で議決する。教育委員会では、統合準備委員会からの報告内容を尊重しながら、内容を決定、または、町長部局と調整しながら議会へ上程する。

- ・今後、統合準備委員会もしくは各部会で協議を進めていく中で、地域の声を聞くことが望ましいといった案件があれば、意向調査等を実施することも検討する。

7 統合準備委員会 正・副委員長選出

(事務局案の提案)

委員長 杉山委員
副委員長 岸本委員
副委員長 森川委員

—承認—

8 会長あいさつ

委員長という大役を仰せつかる器ではないが、皆さんの意見を纏めるよう努めて参りたい。私は約40数年間、会社で「ものづくり」に勤しんできた。この間、色々な経験をした。皆さんも「MADE IN JAPAN」という言葉をご存知だと思うが、世界に誇る日本の品質を成し遂げたものは何か・・・企業内で少数の従業員が集まったグループを結成し、そのグループ単位で共同活動を行う「小集団活動」にあるのではないかと思っている。会社では、従業員の経営参画「小集団活動」の定着に色々と苦労した。年齢差、男女差、給料の差、役職の有無等さまざまな立場の者が一堂に集まって会議を開催した際、なかなか意見がまとまらなかった。このような時に「ブレインストーミング」の手法を導入して、大きな山を乗り越えた経験がある。「ブレインストーミング」手法とは、自由に、活発に意見を述べる会議の方法の1つで、この手法の3原則は、①自由奔放（遠慮無く思ったままを発言する）②批判禁止（他の意見を批判しない）③便乗加工（他の意見に便乗してさらにいいものにしていく）である。これから学校統合に向けて議論する中で、より効率的で効果的な会議に活かせるのではないかと思い紹介させていただいた。

結論を出す時期が2年後と決まっている。スムーズな進行、会議の中身の充実を重要視したいと考えているので、委員皆さんのご協力をお願いしたい。

(進行交替)

9 所属専門部会の決定

会長

先ほど事務局から説明があったが、委員は4つの専門部会のうち、3つの部会「総務部会」・「通学部会」・「PTA部会」に分かれて、具体的に協議を進めてもらうことになる。

校区代表の区長には、総務部会か通学部会に、各学校代表のPTA役員には、総務部会

か通学部会もしくはPTA部会のいずれかに入ってもらおう。今から少し時間をとるので、所属部会を決めていただきたい。

(所属専門部会の報告)

会長

引き続き「3つの部会」に分かれて、第1回専門部会を開催する。部会での協議事項は、部会長・副部会長の選出、今後の協議の進め方・スケジュール（事務局からの説明）、次回部会の日程決定などを予定している。

特に通学部会は、参考資料の作成に日数を要する場合があるので、その期間を考慮して部会日程を調整いただきたい。また、校長先生・こども未来課の事務局には、それぞれの部会に所属してもらおうので、可能な限り、各部会の日程が重複しないように調整をお願いする。休憩時間を含めて35分をお願いしたい。スムーズな運営に協力をお願いする。

委員会の再開は8時50分からとする。

10 第1回専門部会

=準備委員会再開=

(部会長・副部会長報告)

総務部会

部会長 森川委員

副部会長 小林委員

通学部会

部会長 多方委員

副部会長 荻野委員

PTA部会

部会長 岸本委員

副部会長 近藤委員

教育・事務部会

部会長 小林委員

副部会長 荻野委員

11 専門部会報告

会長

互選により部会長及び副部会長が選任された。部会長、副部会長になられた委員には、大変な役目になるが、各部会での活動は八千代区小学校のスムーズな統合に向けて、重要な位置付けになる。ご尽力の程よろしくをお願いしたい。

続いて、各部会から本日の協議事項及び第2回専門部会の日程等について、報告をお願いしたい。

(総務部会)

八千代南・北・西小学校が統合するにあたり、「新しい小学校の名称」をどのような方法で決めるかということ協議した。総務部会の中で「候補名」を決めるのではなく広く公募を行うことに決定した。公募の資格は、統合小学校区にお住まいの方を対象とし、なるべく早い段階で公募を行いたいと思う。集計ができた段階で第2回総務部会を開催する予定である。(日程は未定)

(通学部会)

事務局の方から通学部会の協議事項及びスケジュールについて説明を受けた。その後、通学バスについて協議を行った。どんなバスを利用するのか、スクールバスなのか、路線バスなのか、また、キッズランドで利用しているバスの座席を改造できないかなど様々な意見が出た。通学バスを検討していく上での課題を出し合い、事務局に關係資料の提出を依頼した。次回部会は、6/3(火)午後7時30分から開催する。

(PTA部会)

事務局の方からPTA部会の協議事項及びスケジュールについて説明を受けた。各学校ともPTA組織及び役員選出方法などが異なっており、事務局から提示いただいた資料を持ち帰り、各PTAがどのような部会活動をしているのか各自で勉強し、次回のPTA部会で協議することとした。次回部会は、6/3(火)の午後7時30分から開催する。

(教育・事務部会)

統合準備委員会終了後に、教育・事務部会を行う。

12 その他

会長

会議の進め方について何か意見があったら発言をお願いしたい。

委員

今日は時間的に短かった。重要な内容については十分に時間を掛けて協議したいと思う。

委員

統合準備委員会のスケジュールはどのような予定になっているのか。

事務局

統合準備委員会は、おおむね5月・8月・11月・2月に開催を予定している。

会長

統合準備委員会の日程は、事務局が主導で決められるのか。

事務局

基本的には各専門部会の進行状況を見ながら統合準備委員会を開催したい。場合によっては、部会からの要請によって統合準備委員会を開催することも出てくると考えている。

委員

それぞれ予定もあるので、急に統合準備委員会に招集されても出席できない。

事務局

2週間ほど前には統合準備委員会の案内ができるように配慮したい。

会長

基本的には各専門部会において先行して協議を進めながら、専門部会の進み具合によって統合準備委員会を開催するというようお願いしたい。

委員

統合準備委員会は、各専門部会の進行状況の確認の場にもなるということか。

会長

統合準備委員会は、各専門部会のスケジュール管理を行う場にもなってくる。

委員

今日のように統合準備委員会と各専門部会を同日に開催することは、基本的にはないということでしょうか。

事務局

校長先生にはそれぞれの部会に入っていただくため、専門部会は、できるだけ日程が重複しないように調整をお願いしたい。

委員

次回、通学部会とPTA部会と同日・同時間に予定されているがそれは大丈夫か。

校長

教頭の代理出席で対応したい。

事務局

3つの専門部会ともに日程が重なると出席者の調整が難しいが、次回は校長先生の代理として教頭先生に出席いただき、事務局も2つに分かれて対応したい。

委員

冒頭に個人への委嘱ということで「代理出席は不可」とのことであったが、それについて

はいかがか。

会長

我々委員は代理出席不可となるが、校長先生の場合は「校長（教頭）」ということで委嘱されているので、代理出席も可能という解釈でよいか。

事務局

そのように対応させていただきたい。

委員

時間を有効に活用し、また効果的に部会運営を行うため、事前に次回の協議内容や会議の達成目標（決定すること）について事務局から資料等を提供してほしい。

会長

部会の進め方の手法の1つとして、まず事務局案を提出してもらい、それを土台にして課題や問題点を出し合い、協議を進めていく方法もあるが、それについてはいかが思われるか。

委員

事務局案をもとに議論するのではなく、みんなで意見を出し合い、部会案をつくっていきたいと思う。そのために、事務局から必要な資料を事前に提出いただきたい。

委員

部会の次第の中に「次回の協議項目」の記載があるが、それとは別に「協議内容」の提示が必要ということでしょうか。

会長

事務局は、より詳細に協議事項が分かるもの（会議次第など）を部会の一週間ほど前に配布することは可能か。

委員

次回の部会で協議する内容があらかじめ分かっていたり、事前に参考資料があれば、前もって会議への準備ができて、効果的な議論につながると思うがいかがか。

事務局

会議次第については1週間前までに郵送することとする。

委員

会議の日程について、区長会と重複しないよう配慮いただきたい。

委員

学校統合という重要なことを議論する場になるので、時には時間を延長してとことん議論することも重要であると思うがいかがか。

会長

貴重な意見をいただいた。各専門部会ではとことん話し合い、委員全員が納得のいく結論が出るまで時間を掛けて議論をいただきたい。そして、統合準備委員会の場には、的確な部会案を報告いただき、時間内に議論を済ませたいと考えるがいかがか。会議の場での沈黙の時間は非常にもったいないと思っているので、私の希望することとして、ぜひ委員の皆さんには積極的に発言をお願いしたい。

13 閉会

以上で「第1回目の八千代区小学校統合準備委員会」および「第1回専門部会」を終了する。